

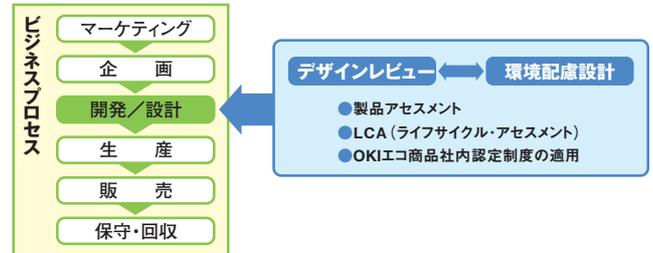


製品の環境対応

製品アセスメント

製品アセスメントの運用

製品の環境負荷を、開発/設計段階から削減するために、省エネ・省資源、リサイクル性、化学物質削減など、製品ライフサイクル全体の環境負荷を評価し、対策することが必要です。沖電気グループは、製品アセスメントやLCA(ライフサイクル・アセスメント)の実施、あるいは「OKIエコ商品社内認定制度」の運用により、製品の環境負荷低減に取り組んでいます。



製品アセスメントとは、「設計する製品」を設定された評価項目(例:省エネ・省資源、リサイクル性など)について、旧モデルなどの「基準となる製品」と比較し、判定基準をクリアするまで再設計を繰り返し、製品の環境負荷を低減する方法です。情報処理装置、プリンタ、電子通信装置などのセグメント別に評価項目と判定基準を決め、製品の特色に合ったアセスメントに取り組んでいます。事例として、電子通信装置の主な項目と基準を紹介します。沖電気グループは、1995年度から製品アセスメント制度を導入しています。

● 電子通信装置の主な評価項目と判定基準

製品本体



IPstage®BV1270

評価項目		判定基準(基準製品との比較)
省エネ	稼働時、待機時のエネルギー消費量	消費電力の削減
		省エネルギー法、国際エネルギースタープログラム基準への適合
		パワーマネジメント機能の採用
省資源	製品の小型軽量化	製品容積/製品質量の削減
	再生資源などの利用	再生資源(再生プラスチックなど)の使用質量の増加
リサイクル性	再利用、再生資源化などリサイクルの可能性	リサイクル可能率=再生資源可能質量/製品本体質量X100の増加
分解容易性	製品解体、回収、運搬の容易化	解体品の最大容積、最大寸法の削減
	製品解体・分離が容易な構造	必要工具・特殊工具の種類数の削減(特殊ネジ・ナット数などの削減)
	素材分離性	電池の取外しの容易性 素材点数の削減 単一材料への分解容易性(材料表示の実施)
長寿命化	バージョンアップ対応	パッケージ交換、ダウンロード機能などの対応性
含有化学物質削減	使用中、廃棄時の環境汚染の防止	製品に含有される環境汚染物質の削減率の増加 含有時処理方法の適切な指示

梱包/包装



IPstage®BV1270の
梱包用ダンボール

評価項目		判定基準(基準製品との比較)
省資源	使用材料の減量化	木材(合板を含む)、段ボール(紙製の原料)の使用質量の削減
		釘、ステーブルの使用数の削減
		発泡材、樹脂板・シート類の使用質量の削減
	包装の小型化	包装空間容積率=(総容積-製品容積)÷総容積X100の低減
リサイクル性	再資源化の促進	再資源化不可能な部品点数の削減
	再使用の促進	ダンボールの再生紙の使用
含有化学物質削減	有害物質の発生抑制	環境汚染物質の未使用
回収性	素材分離の容易性	異種素材を接合している部品点数の削減
廃棄性	廃棄性	廃棄時に折りたたみ、押し潰しが可能
	素材表示	容器包装リサイクル法に則る適切な表示



製品の環境対応

LCA (ライフサイクル・アセスメント)

◎LCA評価

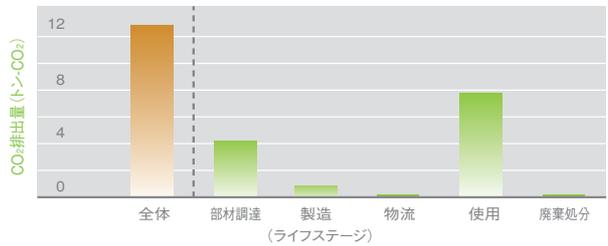
LCAとは、製品の生産から廃棄に至るライフサイクルの物質とエネルギーの流れを一貫して計量し、環境への影響を評価する方法です。製品のライフサイクル全体の環境負荷を把握するのに有効な手法です。今までにATM(現金自動預払機)、プリンタなどの評価を行いました。CO₂排出量で比較すると、いずれも、使用段階に最も環境負荷が大きいことがわかりました。LCAの結果を環境配慮設計のツールとして活用しています。

LCA事例①

ATM



●分析結果

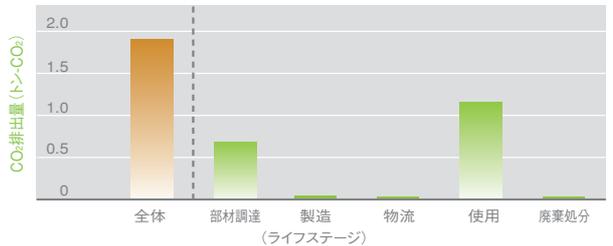


LCA事例②

プリンタ



●分析結果



OKIエコ商品

◎OKIエコ商品社内認定制度

沖電気は、2001年度から「OKIエコ商品社内認定制度」を運用し、お客様に環境に配慮した様々な商品を提供しています。「OKIエコ商品社内認定制度」は、沖電気独自の環境基準を満たした製品を「OKIエコ商品」として社内認定し、お客様に商品の環境情報を提供する制度です。認定された商品は、カタログ、取扱説明書などにシンボルマークを表示し、認定基準とともに、インターネット上で公開しています。全ての製品に共通な基準(全社共通基準)と製品固有の特徴を取入れた個別基準(製品群別基準)とを満足した製品を「OKIエコ商品」として認定しています。

●OKIエコ商品登録までの流れ

全社共通基準

- 省資源化
- リサイクル容易化
- 省エネルギー化
- 有害物質の規制
- 事前評価の実施
- 使用済み製品回収/リサイクル実施
- 廃棄処分時の注意事項表示

製品群別基準

- セグメント別製品群毎に異なる固有の基準
- ・情報処理装置
- ・プリンタ
- ・電子通信装置
- (電子デバイスは対象外)

両基準を満足
すると登録

